

新型コロナウイルス感染症 診療の手引き 第10.0版 改訂のポイント

★第10.0版は、5類への類型変更後の初めての改訂である。関連する主な改訂箇所を赤文字で示す

1 病原体・発生状況

- 病原体(p.5)・発生状況を更新(p.6)

2 臨床像

- 臨床像(p.7)に第9.0版の胸部画像所見、合併症の内容を追加し、更新
- 重症化リスク因子(p.9)・小児例の特徴(p.11-13)・妊婦例の特徴(p.14)を更新
- COVID-19ワクチンに関する説明を追加(p.10、15-17)

3 診断・サーベイランス

- 症例定義に関する記載を削除
- 検体と採取法を説明する表を追加(p.19)
- 届出に関する記載を参考として更新(p.21)

4 重症度分類とマネジメント

- 序文、重症度分類(p.22)・高齢者の管理・小児の管理・妊産婦の管理(p.31-34)を更新
- 重症度別に記載していたマネジメントを「外来診療」「入院診療」「集中治療」にまとめなおし、内容を更新(p.24-30)
- G-MISを活用した入院調整に関する説明を参考として追加(p.35)

5 薬物療法

- 抗ウイルス薬(p.37-46)・中和抗体薬(p.47-51)・免疫抑制・調節薬(p.52-55)・妊婦に対する薬物療法(p.56)を更新
- オミクロン流行期以降に実施された臨床研究の表(p.44, 45)、抗ウイルス薬の選択フロー図を追加(p.46)
- 日本国内で開発中の主な薬剤を削除し、国内外で開発が中止された主な薬剤を更新(p.55)

6 院内感染対策

- 序文(p.58)・職員の健康管理、個人防護具(p.60)・妊婦および新生児への対応(p.61)・死後のケア(p.62)を更新
- 病理解剖業務における感染対策(p.62)・医療従事者の就業制限(p.63)を追加
- 7 退院基準、解除基準(第9.0版)の内容を感染予防策を実施する期間(p.63)として更新